

令和 7 年度 学校推薦型選抜・公募制問題用紙（小論文）

家政学部 児童学科 児童教育専攻

今日の学校教育では、小学校に限らず、「探究的な学習」が重視されています。文部科学省（2017）の定義によれば、「探究的な学習」とは、「物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営み」のこととされ、学習者が、①日常生活や社会に対する疑問や関心に基づいて自ら課題を見つけ、②情報を収集し、③その情報を整理・分析したり考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、④明らかになった考えや意見をまとめ・表現し、そこから新たな課題を見つける、というプロセスから成ります。こうした「探究的な学習」のプロセスは、総合的な学習（探究）の時間の展開と重なります。小・中学校における長期休業の自由研究は、この「探究的な学習」に無意識に取り組んでいるといえるでしょう。

このことを踏まえ、次の2つの内容について、合わせて 800 字以内で記述してください。

1. 小・中学校及び高等学校において、どのような「探究的な学習」を経験し、そこにどのような学びがあったかを説明してください。
2. 大学でどのような「探究的な学習」に取り組みたいと考えますか。あなたの今後のキャリアデザインと関連付けて論じてください。

参照

文部科学省（2017）。小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総合的な学習の時間編。
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf

（以下の余白は下書きのために使用して構いません。）